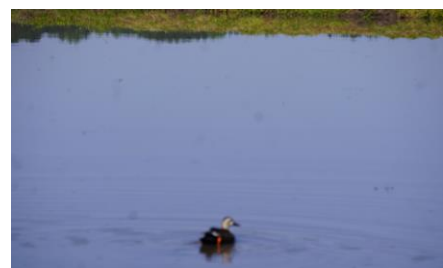


ひがしの



「校長先生見て！癒し」（千藤君）田んぼで鴨が気持ちよさそうにしているのをみて。心の豊かさの現れ

修学旅行にて

校長 岩井 裕美

5月18日、19日に修学旅行に行っていました。18日は気温30度、19日は本降りの雨と、厳しい条件の中、子供たちは素晴らしい修学旅行をやり切りましたので今号では子供たちの姿を少し報告させていただきます。

まずは、学ぶときと楽しむときの切り替えがきちんとできて、けじめがありました。目標の一つに「考動」を掲げていましたので、まさにそれができていると感じました。

2つ目は挨拶です。ホテルの仲居さん、資料館の係の人、お寺の人への挨拶に対する、「こんにちは」「ありがとうございます」。大きな声を出せないところでは会釈をしていました。他の学校の児童や、旅行に来ている外国人にも挨拶ができました。行事は学校でつけた力を試す場。6年生の挨拶は本物の力だと思って誇らしい思いでした。

3つ目は人に対する思いやりの心に溢れていたことです。夕食会場に最後に着いた児童が、「遅れてすみません」と仲間に声をかけました。集合時間には遅れていないので問題ないのですが、待っていてくれたみんなの気持ちを考えられるから、こういう言葉がかけられるのです。また、複数の学校の児童が同席した食堂で、「いただきます」の係の子の声が届かなくて困っていました。それに気づき、周りの子に、「手を合わせよ」と声をかけ、係をフォローする姿。片付けやすいようにテーブルの上に食器を揃えて片付ける姿。夜の反省会の際、上の階で寝ているかもしれない他の学校の人のことを考えてしたちっちゃな拍手。ガイドさんへのたくさんの反応。これら全て、人の気持ちが分かる思いやりのある人、状況を考えられる人、そして、自分から進んで動ける人しかできない、素晴らしい姿でした。



東野小学校6年生の皆さんへ

本当にあっという間の二日間でした。

6年生のあるべき姿、下級生のお手本となる姿をたくさん見せていただきました。

話の受け答え、その場の空気を読む力（これ、すごく大事な力だと思います）、そして出会った人との協調性が抜群だと思いました。

楽しい二日間をありがとうございました。

添乗員 中部観光 金子さん